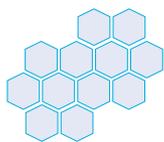


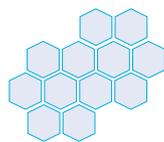
2025年2月期 決算説明会

2025年4月16日

代表取締役社長 河田 淳



- 1** 2025年2月期 決算概要
- 2 2026年2月期 業績見通し
- 3 2026年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料



2025.2期 連結業績

2025.2期の連結売上高、連結営業利益は**増収増益となり、過去最高を更新**。（連結売上高は9年連続で最高、**中本本体、国内、国外子会社の売上、営業利益も過去最高**を記録）

連結売上高：49,132百万円（前期比+10.8%）

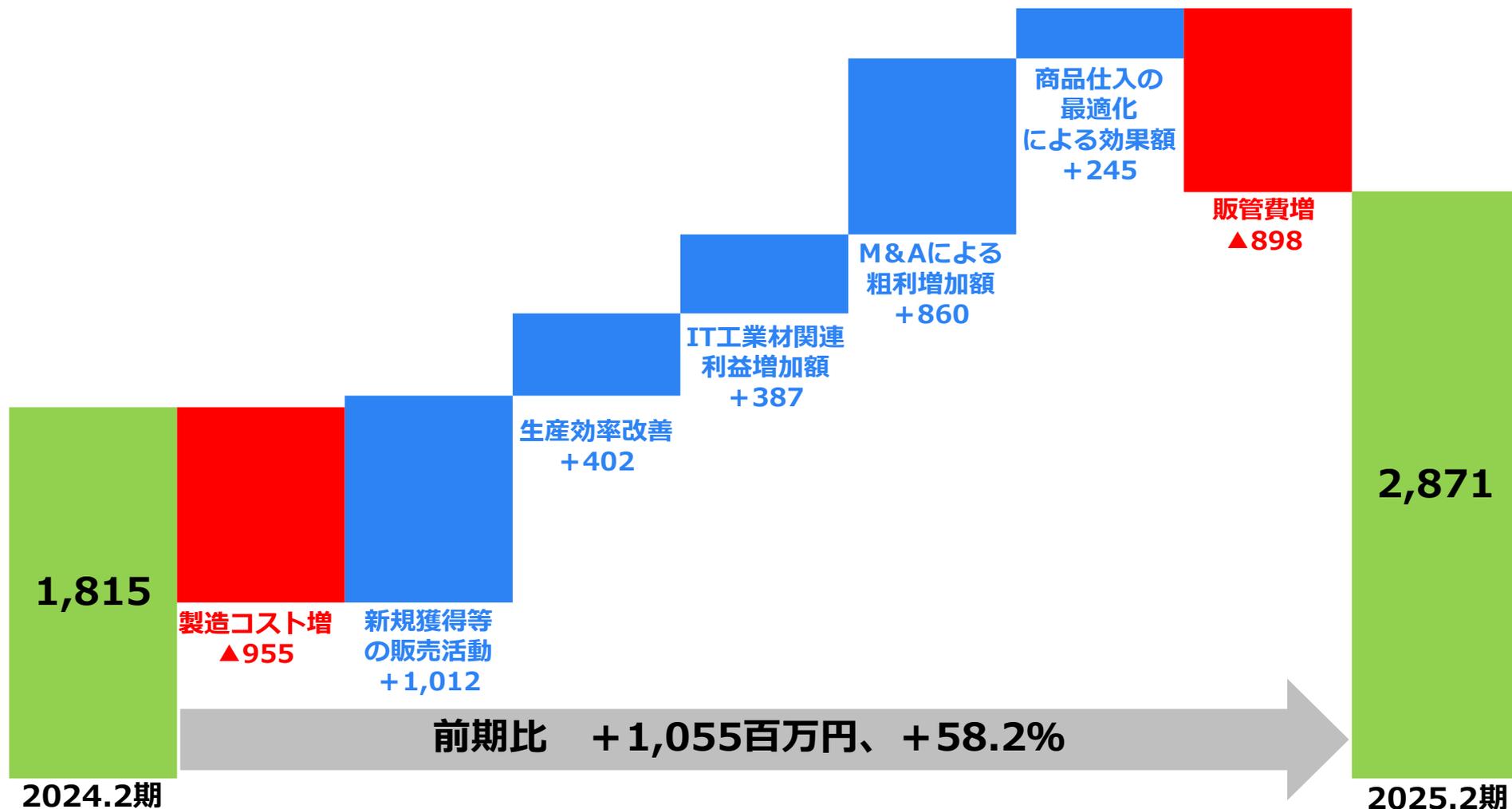
連結営業利益：2,871百万円（前期比+58.2%）

- ☀️ 冷凍食品・農産物などのフードパックが好調に推移したこと、国内子会社の貢献により食品関連は増収増益。
- ☀️ IT・工業材関連ではスマートフォン用途や半導体関連などが好調に推移したこと、自動車内装材が回復傾向で増収増益。
- ☀️ 利益率の高い自社商品の販売が好調に推移したことにより生活資材関連は増益。

営業利益増減要因（前期比）

【連結営業利益】

（単位：百万円）
※百万円未満切捨



決算ハイライト

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 実績	2025.2期					
		実績	前期比		計画 (1/14開示)	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	44,362	49,132	+4,769	+10.8%	48,000	+1,132	+2.4%
売上総利益	6,649 (15.0%)	8,604 (17.5%)	+1,954	+29.4%	8,380 (17.5%)	+224	+2.7%
販管費	4,834 (10.9%)	5,733 (11.7%)	+898	+18.6%	5,600 (11.7%)	+133	+2.4%
営業利益	1,815 (4.1%)	2,871 (5.8%)	+1,055	+58.2%	2,780 (5.8%)	+91	+3.3%
経常利益	2,341 (5.3%)	2,908 (5.9%)	+566	+24.2%	2,750 (5.7%)	+158	+5.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,057 (2.4%)	2,010 (4.1%)	+952	+90.1%	1,900 (4.0%)	+110	+5.8%

設備投資額*1	1,191 (2.7%)	1,296 (2.6%)	+104	+8.8%	1,417 (3.0%)	▲121	▲8.6%
減価償却費*2	1,293 (2.9%)	1,288 (2.6%)	▲5	▲0.4%	1,324 (2.8%)	▲36	▲2.7%

*1：設備投資額には建設仮勘定は含まない *2：のれん償却額は含まない

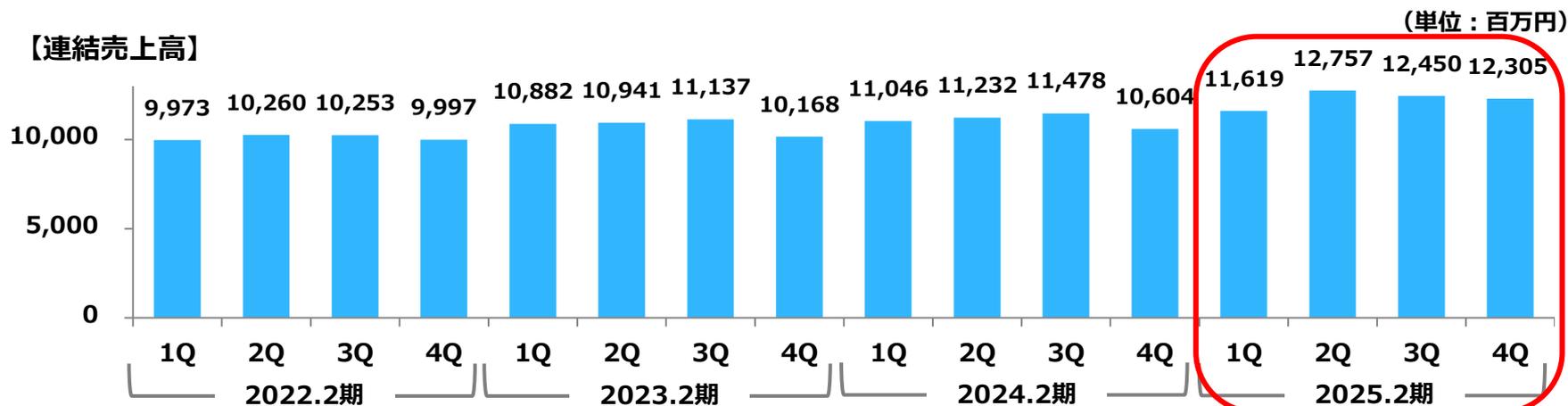
(注)換算レート 2025.2期 21.63円/元 158.17円/ドル

決算ハイライト

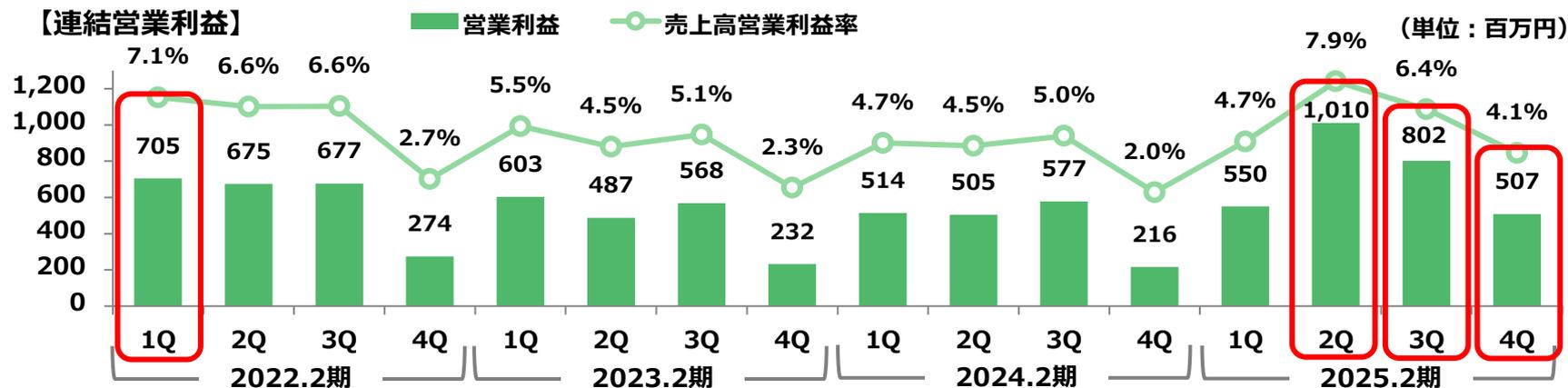
四半期毎 売上・営業利益推移

- ・スマートフォン用途や半導体関連が好調に推移
- ・中本本体、国内・国外子会社の最高売上/利益により、2025年2月期は過去最高の売上と利益を達成。

【連結売上高】



【連結営業利益】



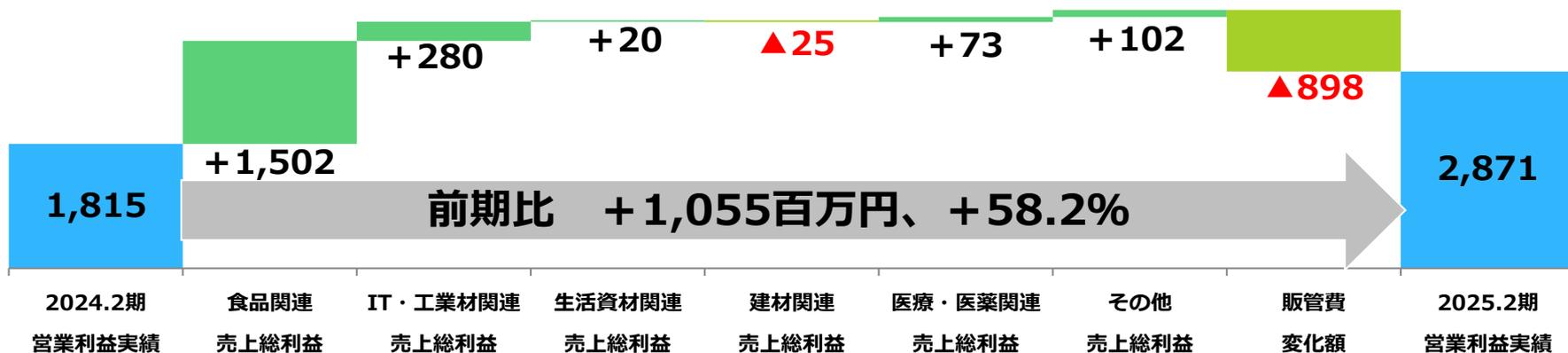
売上高・営業利益増減要因 (前期比)

【連結売上高】

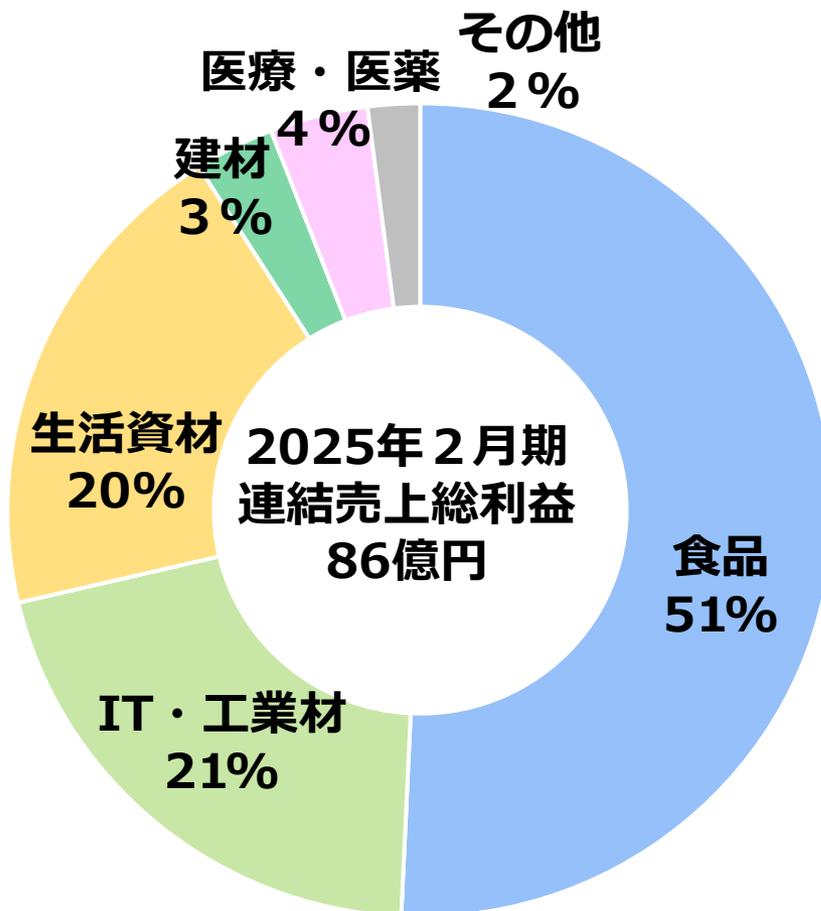
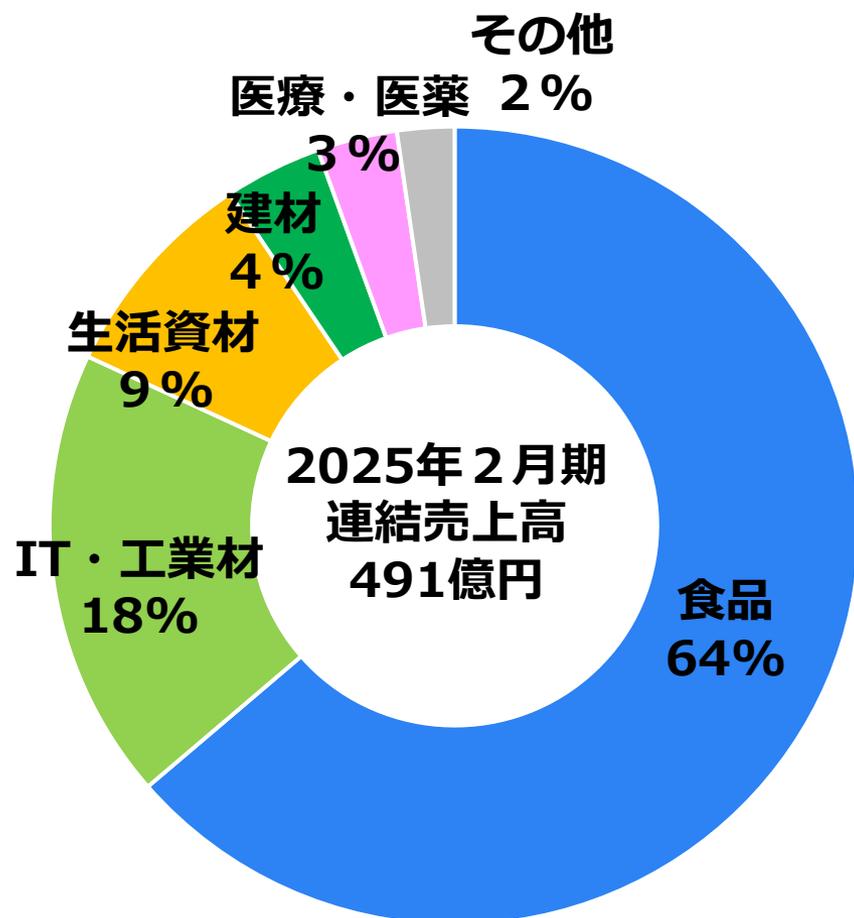
(単位：百万円)
※百万円未満切捨



【連結営業利益】

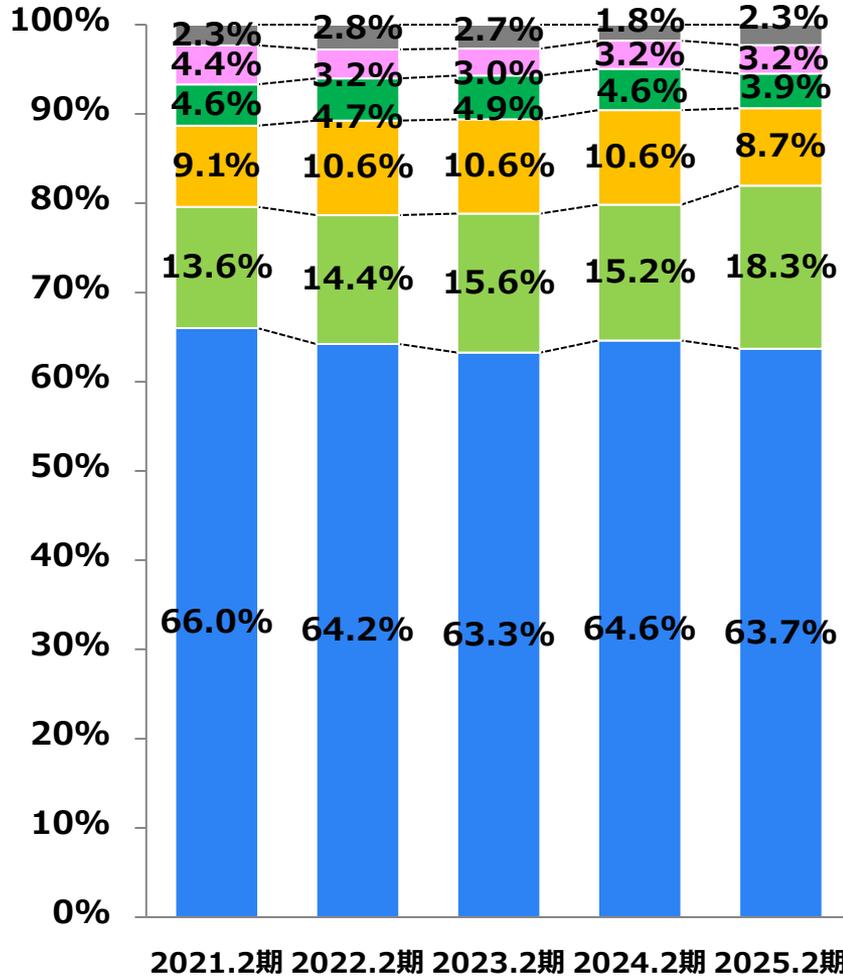


用途分類別売上高と売上総利益比率

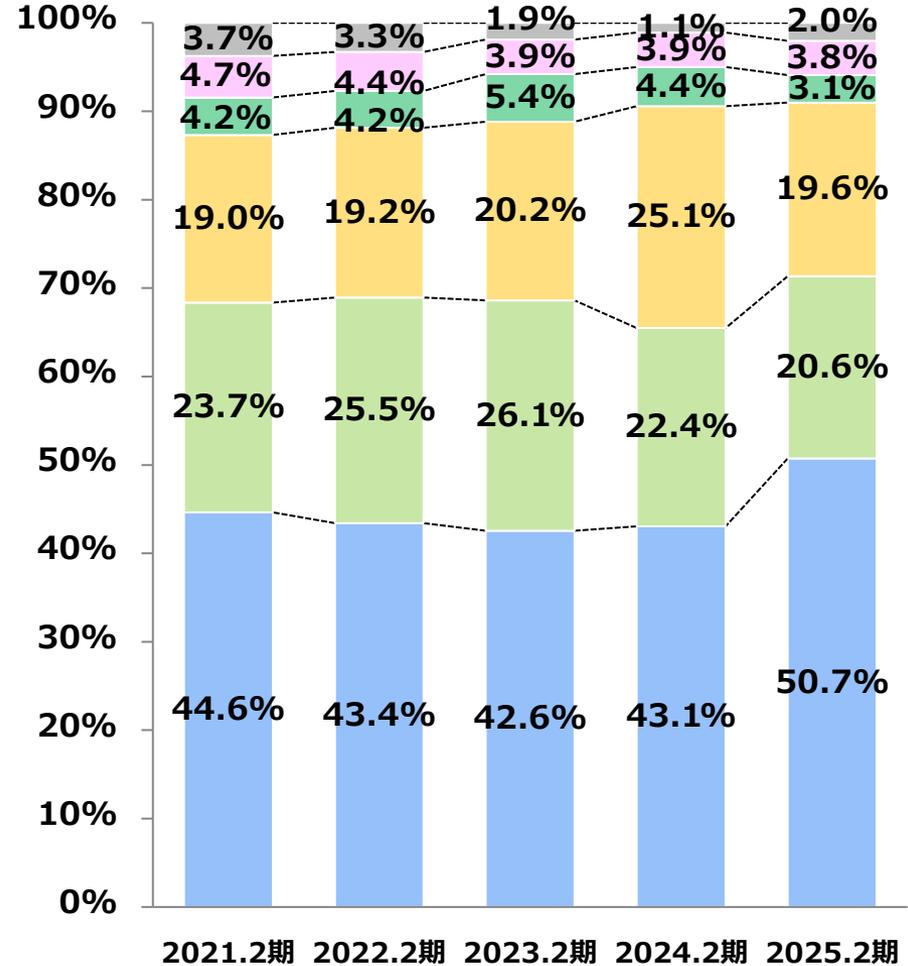


用途別売上高・売上総利益構成比の推移

【連結売上高】



【連結売上総利益】

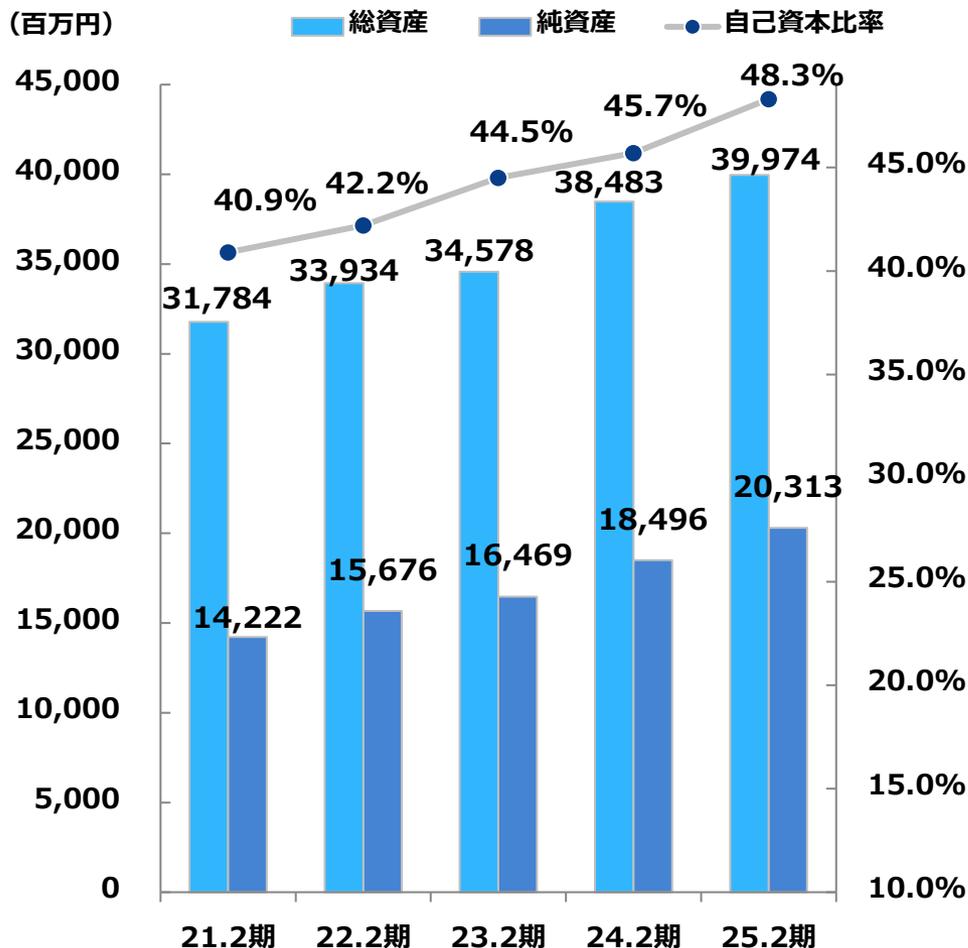


■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

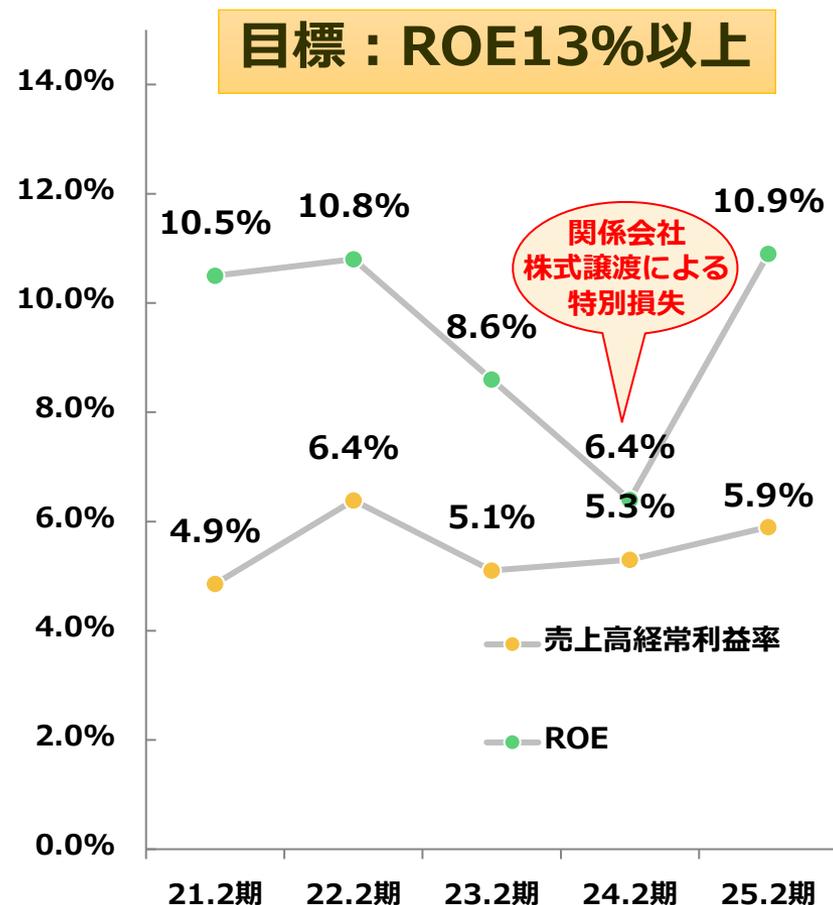
■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

堅調な業績を背景に、ROEが10%台に回復

総資産・純資産・自己資本比率



売上高経常利益率・ROE

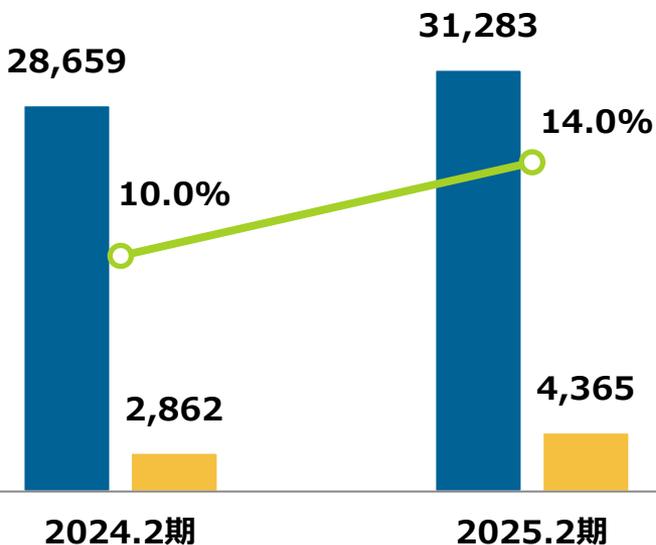


用途別状況 食品関連

食品関連

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器

イメージ

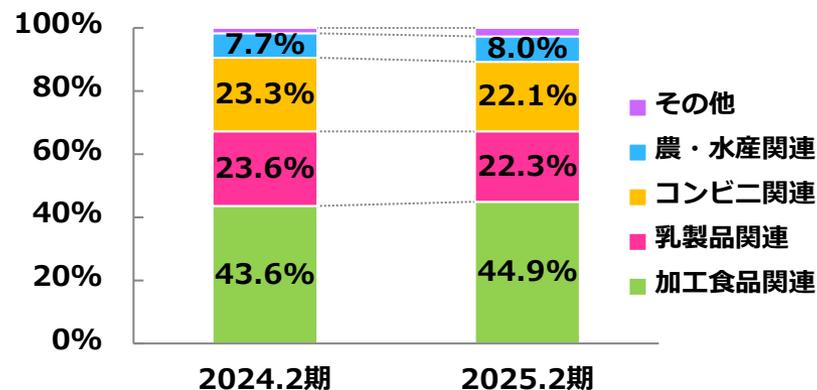


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品が好調 ・惣菜分野は堅調に推移 ・ソーセージなどの食肉加工品向けパッケージが好調
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・チーズ関係、市販ヨーグルトが堅調
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・容器成型加工が堅調
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・農産向けフードパックが好調

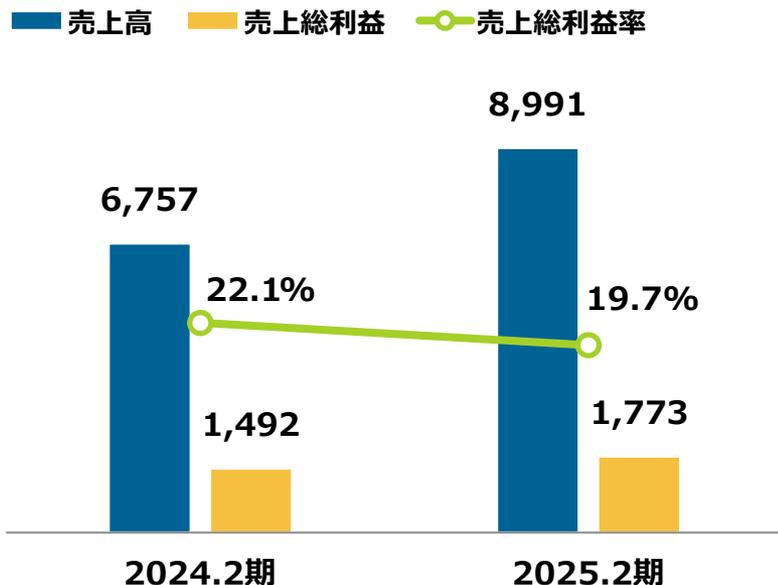
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



各種工程フィルム



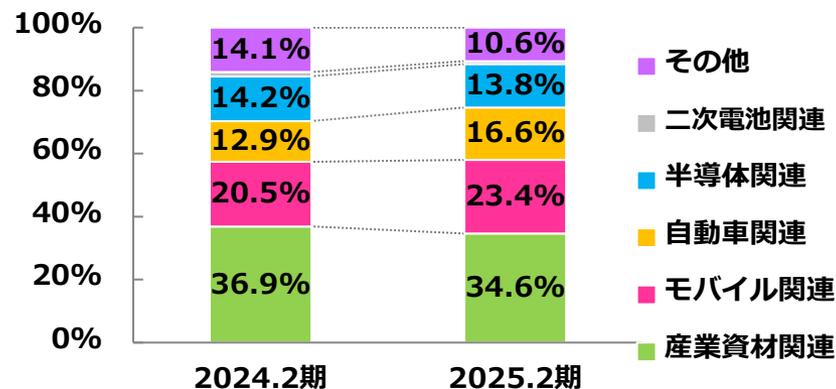
NSセバ



■ 主要製品別販売状況

産業資材関連	<ul style="list-style-type: none"> EC関連資材、産業資材向けの多層ナイロン共押出袋が増加 食品産業用資材が堅調に推移
モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン用途が増加
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品パッケージ材料等が好調に推移
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> 自動車内装材が回復傾向
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> スポット受注のみ
その他	<ul style="list-style-type: none"> 各種開発案件が増加

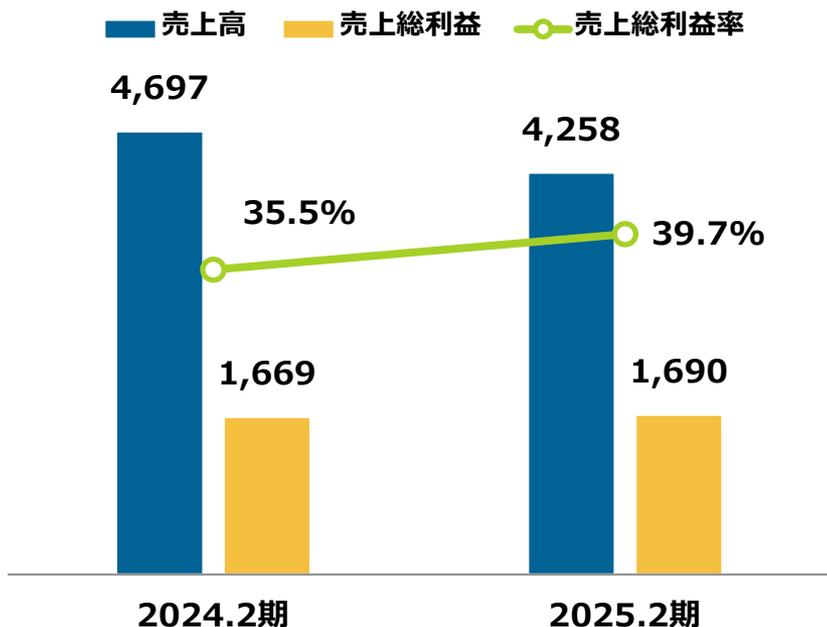
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



エアコン室外機
用遮熱シート



フライパンシートにもなる
まな板シート

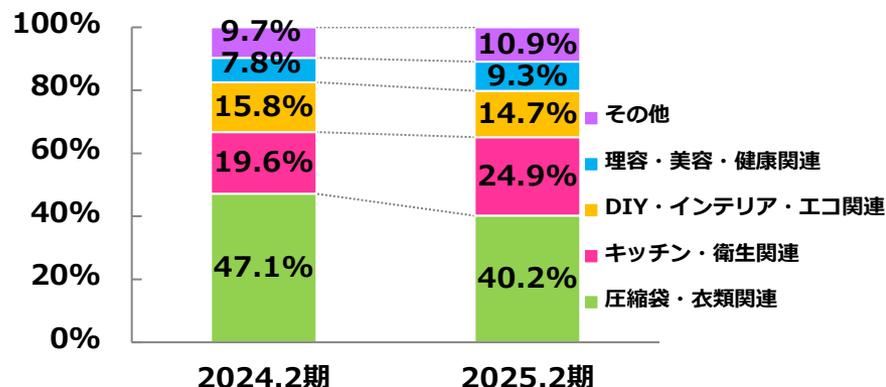


ワッフル
シートたわし

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類 関連	・テレビショッピング放映枠縮小の影響で 減少
キッチン・ 衛生関連	・利益率の高い自社商品の販売が好調
DIY・インテリア ・エコ関連	・断熱シート等の季節商材が暖冬の影響で 受注減少
理容・美容・ 健康関連	・毛染関係（くし、手袋）が堅調

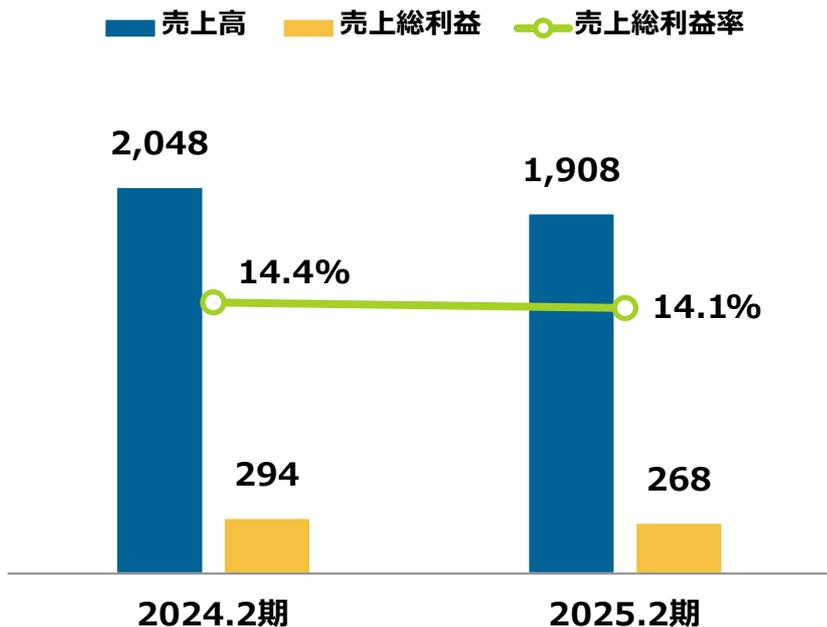
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 建材関連

建材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

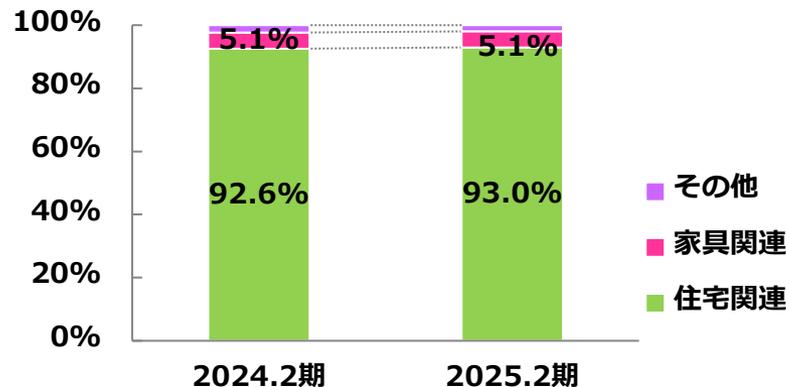
住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁紙向け印刷は堅調に推移 ・ 戸建て向け印刷の表面機能コーティングを施した建材の受注減少
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外向け案件は微減

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



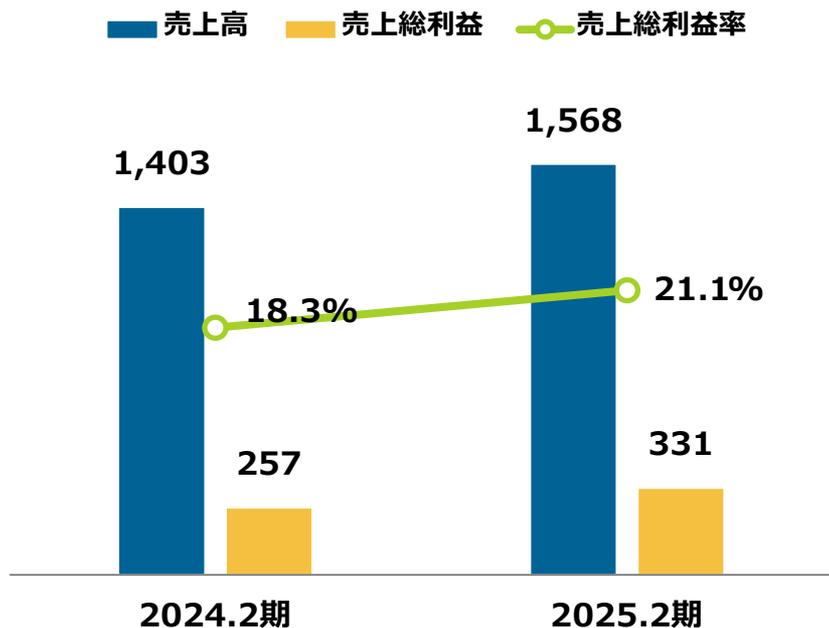
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



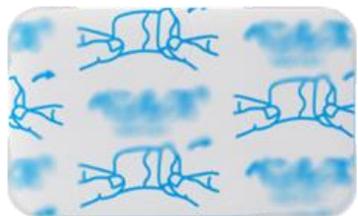
用途別状況 医療・医薬関連

医療・医薬関連

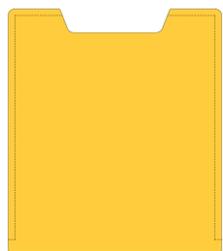
(単位：百万円)



当社製品 採用例



麻酔テープ

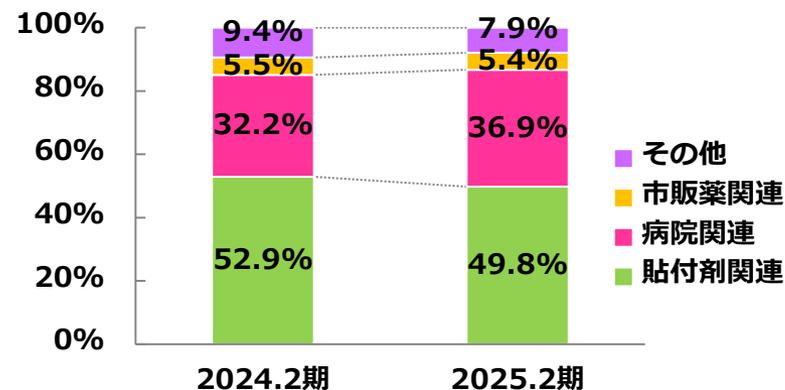


輸液用遮光カバー

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> ・海外向けが増加 ・一部の製品で原材料が高騰
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用の包装袋が好調に推移
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> ・市販薬用包材は減少

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2末	2025.2末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	23,139 (60.1%)	24,714 (61.8%)	+1,574	現金及び預金+109、電子記録債権+391、 受取手形、売掛金及び契約資産+562、 棚卸資産+497
固定資産	15,343 (39.9%)	15,260 (38.2%)	▲83	投資その他の資産+232、 有形固定資産▲256、無形固定資産▲59
資産合計	38,483 (100.0%)	39,974 (100.0%)	+1,490	
流動負債	16,854 (43.8%)	16,220 (40.6%)	▲634	未払法人税等+169、その他+190、 電子記録債務▲230、短期借入金▲704、 リース債務▲151
固定負債	3,132 (8.1%)	3,440 (8.6%)	+308	長期借入金+204、リース債務+86
負債合計	19,987 (51.9%)	19,661 (49.2%)	▲326	
純資産合計	18,496 (48.1%)	20,313 (50.8%)	+1,816	利益剰余金+1,448、為替換算調整勘定+271
負債・純資産合計	38,483 (100.0%)	39,974 (100.0%)	+1,490	
ネット有利子負債	1,275 (3.3%)	632 (1.6%)	▲642	現金及び預金+109、長期借入金+204、 短期借入金▲704

ネット有利子負債 = (有利子負債 - 現金及び預金)

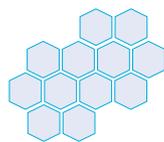
キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2024.2期 実績	実績	2025.2期
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,458	2,353	税金等調整前当期純利益+2,847、 減価償却費+1,288、関係会社整理損+135、 売上債権の増加額▲904、棚卸資産の増加額▲416、 法人税等の支払額▲735
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,533	▲1,156	固定資産の売却による収入+13、 生産加工設備等の固定資産の取得による支出 ▲1,164
フリー・キャッシュフロー	925	1,197	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲32	▲1,240	長期借入れによる収入+1,200、 短期借入金の純減額▲739、 長期借入金の返済による支出▲964、 リース債務の返済による支出▲158、 配当金の支払額▲561
現金及び現金同等物の換算差額	69	148	
現金及び現金同等物の増減額	961	105	
現金及び現金同等物の期首残高	5,019	7,446	
株式交換による現金及び 現金同等物の増加額	1,465	-	
現金及び現金同等物の期末残高	7,446	7,552	

- 1 2025年2月期 決算概要
- 2 2026年2月期 業績見通し**
- 3 2026年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料



当期の業績見通し（概況）

2025.2期まで

食品関連

- ・ 乳製品、冷凍食品、農産向けフードパック好調
- ・ 連結子会社化した中本アドバンストフィルムが売上及び利益に寄与
- ・ 環境対応包材であるラベルレスサーマルトップシールの採用が進んだ

IT・工業材関連

- ・ スマートフォン用途や半導体関連、電子部品パッケージ材料が好調に推移
- ・ 自動車内装材は回復傾向
- ・ 次世代電池関連はスポット案件があった

生活資材関連

- ・ 圧縮袋などの収納商材はテレビショッピング放映枠縮小の影響で減少
- ・ 利益率の高い自社商品の販売が好調

建材関連

- ・ 壁紙向け印刷は堅調に推移
- ・ 戸建て向け印刷の表面機能コーティングを施した建材の受注が減少

医療・医薬関連

- ・ 貼付剤は海外向けが増加
- ・ 医療用の包装袋が好調

2026.2期以降

- ・ 環境対応包材、機能性包材の取組強化
トップシールの採用拡大と利益貢献
- ・ 中本アドバンストフィルムの更なる成長と売上/利益貢献
- ・ 引き続き製造コストは上昇
原価低減改善活動に努める

- ・ 引き続きスマートフォン用途、半導体関連の堅調な受注を見込む
- ・ 次世代電池関連や成長分野の試作、量産化推進・大型投資を実施

- ・ 季節もの商材の拡販強化
- ・ 新商品の開発、拡販強化
（円高も追い風）



- ・ 営業活動による既存案件の受注拡大
- ・ 更なる生産効率向上
- ・ 新機能性建材への取組推進

- ・ 輸液関連の新規開発案件の拡販

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2025.2期 実績	計画	2026.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,296 (2.6%)	1,950 (3.8%)	+ 654	+ 50.5%
減価償却費	1,288 (2.6%)	1,274 (2.5%)	▲ 14	▲ 1.1%

【2026.2期の主な設備投資】

件名	内容	投資金額（億円）
工場・生産設備	工場用地購入（埼玉）、テストコーター機(埼玉)、圧縮袋製袋機（ベトナム）、改修工事（竜ヶ崎・筑波・中本印書館）他	約16.5億円
IT化・システム付帯設備	基幹システム関係他	約0.2億円
空調関連	空調設備(名張・埼玉・竜ヶ崎・筑波)	約0.9億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(名張・埼玉・技術開発等)	約1.5億円

当期の業績見通し

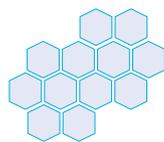
(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2025.2期 実績	計画	2026.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	49,132	52,000	+2,867	+5.8%
売上総利益	8,604 (17.5%)	9,395 (18.1%)	+790	+9.2%
販管費	5,733 (11.7%)	6,370 (12.3%)	+636	+11.1%
営業利益	2,871 (5.8%)	3,025 (5.8%)	+153	+5.4%
経常利益	2,908 (5.9%)	3,100 (6.0%)	+191	+6.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,010 (4.1%)	2,011 (3.9%)	+0	+0.0%

想定為替レート 20.0円/元 140.0円/ドル

- 1 2025年2月期 決算概要
- 2 2026年2月期 業績見通し
- 3 2026年2月期 重点取り組み**
- 4 参考資料



- 1. 環境経営の推進**
- 2. 積極的なM&A**
- 3. 海外事業の収益アップ及び最適化**
- 4. IT・工業材分野の投資、開発強化**
- 5. 技術力強化による生産性・品質改善**
- 6. 基幹システム刷新による効率化推進**

基幹システムの入替えによる生産改革

中本パックス	2024年5月入れ替え完了
中本Fine Pack、中本印書館	2024年7月入れ替え完了
サンタック	2024年11月入れ替え完了
中本アドバンスフィルム	入れ替えを検討

今後の展開

1. 生産工場の全体最適化、SCMの推進（今後の成長の原動力）
2. リアルタイム化、ペーパーレス化の推進
3. 新基幹システムのデータ活用による改善活動、DX化の推進
4. システムの更なるブラッシュアップ

MI C S化学を2024年2月1日に完全子会社化
2024年8月1日に中本アドバンスフィルムに商号変更

中本グループに入って初年度から売上・利益貢献



実包例



鮭



ソーセージ



とうもろこし

中本グループとのシナジーにより営業、生産、開発を強化することで、さらなる売上と利益アップを目指す

リコーとの合併会社 RNスマートパッケージング

ラベルレスサーマル

環境負荷低減

- ・ 容器のプラスチック使用量削減
- ・ 食品の賞味期限延長
→ フードロス削減

生産性向上

- ・ 可変情報の直接印字が可能
→ 印刷ロールの在庫削減

SKU削減

- ・ 在庫管理業務削減



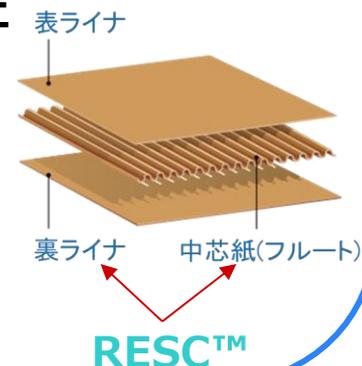
バリアコート紙 RESC™

環境負荷低減

- ・ 紙とバイオマス材料の複合品
→ CO2削減効果もある次世代SDGs
対応パッケージング素材

多様な性能

- ガスバリア性・フレーバーバリア性・
耐油性・リサイクル性
→ 鮮度保持、保湿性、保存性、
臭い漏れ・移り香防止



コンビニを中心にトップシールの売上及び全国展開開始

RNスマートパッケージングのロードマップ

デジタルサービス

内容物表示データを包装工程でタギング
個品IDをデータサービスで活用



包装工程で
個品IDをタギング



アレルギー



アレルギー
HALAL



ヴィーガン

- ✓ 一部の消費者の購買行動へ大きな影響
⇒ 包装資材の付加価値向上

RESC™ (紙包装)

Type PL



剥離リサイクル例



- ✓ バイオマス
- ✓ 酸素バリア
- ✓ 保香性
- ✓ 耐油性
- ✓ リサイクル性
- ✓ 生分解性

SDGs・DXへの取り組み

更なる
付加価値
(個品ID)

自動蒸通
フィルム
RICOH

Nakamoto Packs

RESC™
(ハリコート紙)
RICOH

Nakamoto Packs

ラベルレス
(トップシール)
RICOH

Nakamoto Packs

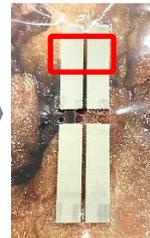
シリコン
ライナーレス
ラベル
(SLLラベル)
RICOH

※市場展開中

レンジ前



レンジでの自動蒸通



- ✓ マイクロ波の熱変換で
中央部の開口部より
自動蒸通
- ✓ 利便性、積載強度UP
(レンジ前の開封が不要)

一般包装容器 + ラベル
(表面)



ラベルレス
サーマル
トップシール



- ✓ 感熱ラベルごみの発生なし
(89%のCO2削減効果)
- ✓ 生産性向上
- ✓ SKU低減

裏面感熱ラベル

感熱記録層を
部分印刷

ピロー、深絞り
包装へも用途展開

一般ラベル



シリコンライナーレス
ラベル(SLLラベル)



- ✓ 剥離紙ごみの発生なし
(35%のCO2削減効果)
- ✓ 作業効率UP
(巻き長UPでロール交換頻度低減)
- ✓ ラベルサイズ適正化でムダなし
(印字情報量に合わせラベル長を可変可能)



現状

RICOH

Nakamoto Packs

※市場展開中

- 成長分野×当社技術優位性×パートナー
- 生産設備の内製、改造、圧倒的なスピード対応

コーティングに関連する分野

光学、ディスプレイ

- ・偏光板保護フィルム
- ・円偏光板保護フィルム
- ・表面処理フィルム
- ・フォルダブル用カバーシート
- ・輝度向上フィルム
- ・拡散シート
- ・QDシート
- ・透明導電性フィルム
- ・ハードコートフィルム
- ・OCA
- ・プロテクトフィルム
- ・FPD用離型フィルム

半導体製造工程用

- ・バックグランドテープ
- ・ダイシングテープ
- ・ダイボンドフィルム
- ・半導体封止用離型フィルム
- ・非導電性接着フィルム
- ・マスキングテープ
- ・キャリアテープ
- ・カバーテープ
- ・工程用離型フィルム

二次電池、太陽電池

- ・LiBセパレーター
- ・LiBアルミパッケージ
- ・電極材（AL,Cu）
- ・カーボンコート箔
- ・太陽電池用封止フィルム
- ・太陽電池用フロントシート、バックシート
- ・フレキシブル太陽電池用バリアフィルム

電子材料

- ・異方導電性フィルム
- ・FCCL銅箔積層板
- ・FPC用離型フィルム
- ・層間絶縁フィルム
- ・ドライフィルムレジスト
- ・ソルダーレジストフィルム
- ・非塗工離型フィルム
- ・放熱シート
- ・ノイズ抑制シート
- ・電磁波シールドフィルム
- ・フィルムコンデンサー
- ・MLCC用離型フィルム

【ターゲット分野】

- ✓半導体製造工程材料
- ✓民生、車載、データセンター周辺電子部品
- ✓二次電池用電極材（カーボンコート箔）

電池の搭載量比較

HEV（ハイブリッド車）用
電池



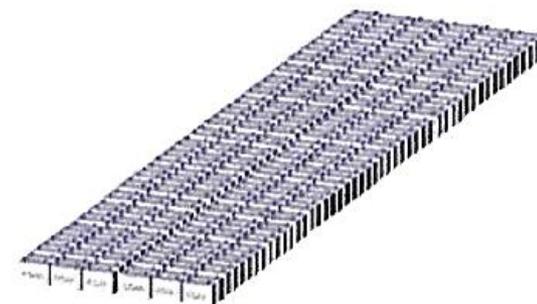
1 kWh

PHEV（プラグインHV）用
電池



10~20kWh

BEV（バッテリーEV）用
電池



50~100kWh

BEV用の電池搭載量は他電動車に比べ「桁違い」

カーボンコート箔

LiB

NCM 3元系

- エネルギー密度が高いので航続距離が長い
- ×ニッケル・コバルトの単価が高く、将来の値上がり心配

LFP リン酸鉄系

- リン酸鉄・リチウムイオンの単価が低く、安価（ただしリサイクル価値が低い）
- ×エネルギー密度が低いので航続距離が短い
- ×抵抗が高いため寒さに弱い

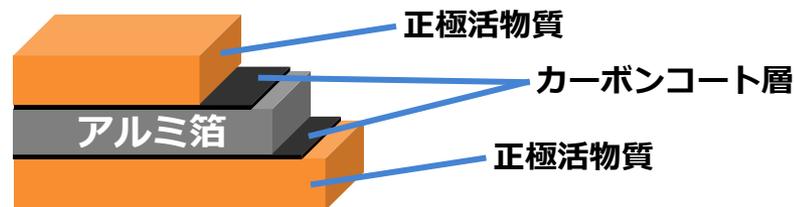
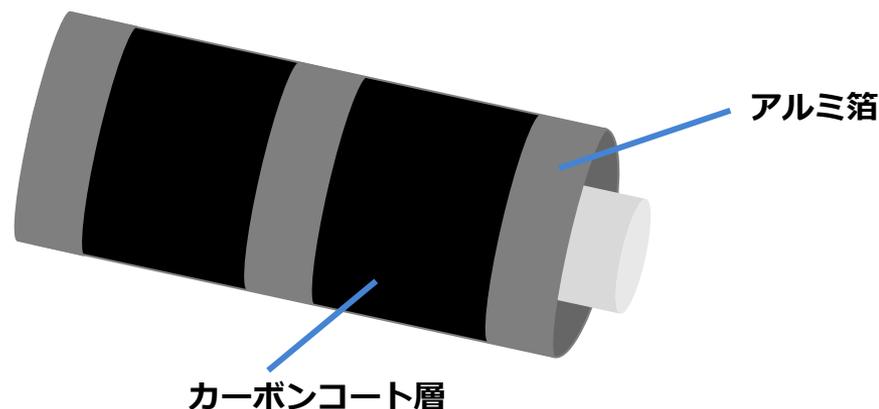
中国ではカーボンコートアルミ箔への切り替えが加速している

カーボンコート箔のメリット

- 電極材料との結合改善→導電性向上
- 内部抵抗率の抑制
- 機械的強度が向上
- アルミ箔の腐食抑制
- 電池の寿命UP

電池の種類	カーボンコート
ドライ電極	○
リチウム硫黄電池	◎
半固体電池	○
全固体電池	○

※次世代電池においても需要が見込める



ターゲット分野でのコンバーターNo.1を目指す

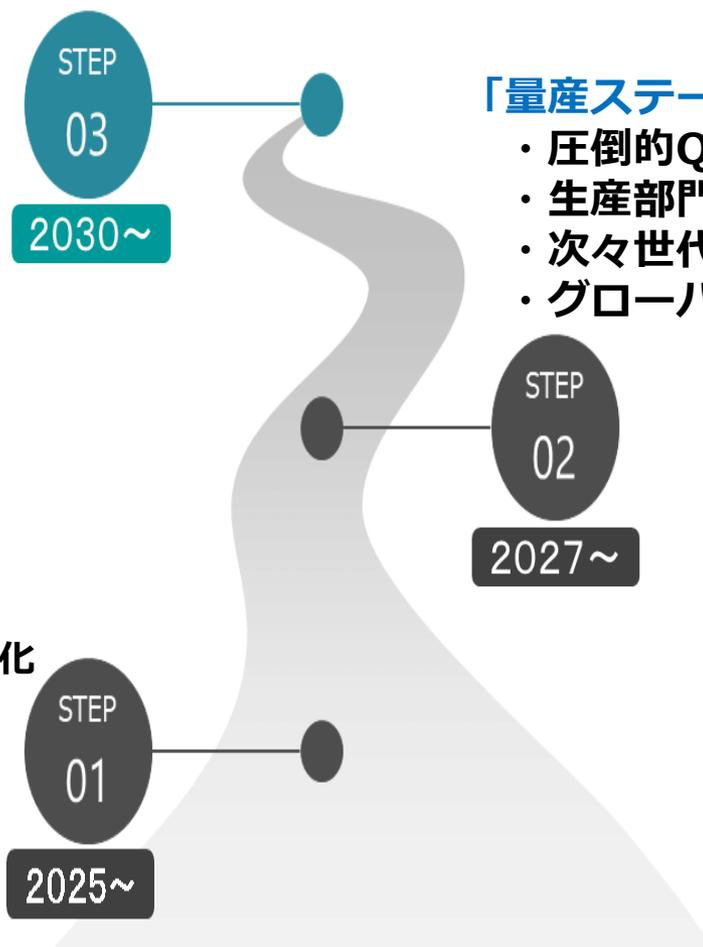
「国内ポジション確立」

「海外生産、売上強化」

- ・ブランディング完了
- ・ポジション確立
- ・国内BCP
- ・更なる品質保証体制の強化
- ・機能材事業本部の立上げ

「基盤強化」「ブランディング」

- ・機能材事業開発部の創設
- ・テストコーター機導入による技術強化
- ・新工場用地の取得
- ・エンジニアリング部の強化
- ・材料設計、検査、評価力の強化
- ・各種案件のスペックイン
- ・次世代生産機の仕様確定
- ・展示会、業界紙面、SNSを活用
機能材事業の認知度向上

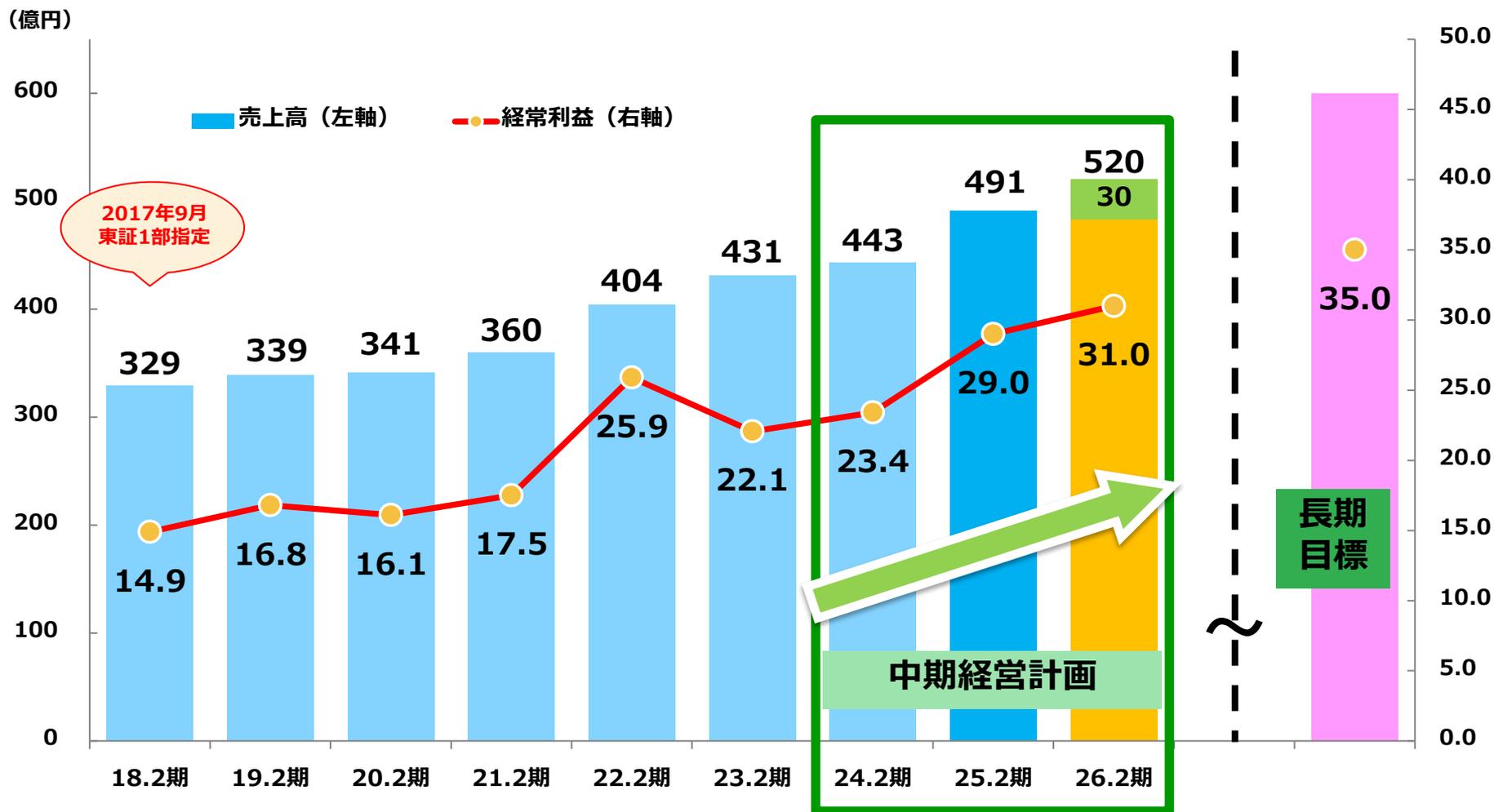


「量産ステージ」「グローバル」

- ・圧倒的QCD生産コーターの導入
- ・生産部門、品質保証体制の強化
- ・次々世代加工技術の磨き上げ
- ・グローバルでのマーケティング

中期業績目標（中期経営計画2024）

目標：ROE13%以上

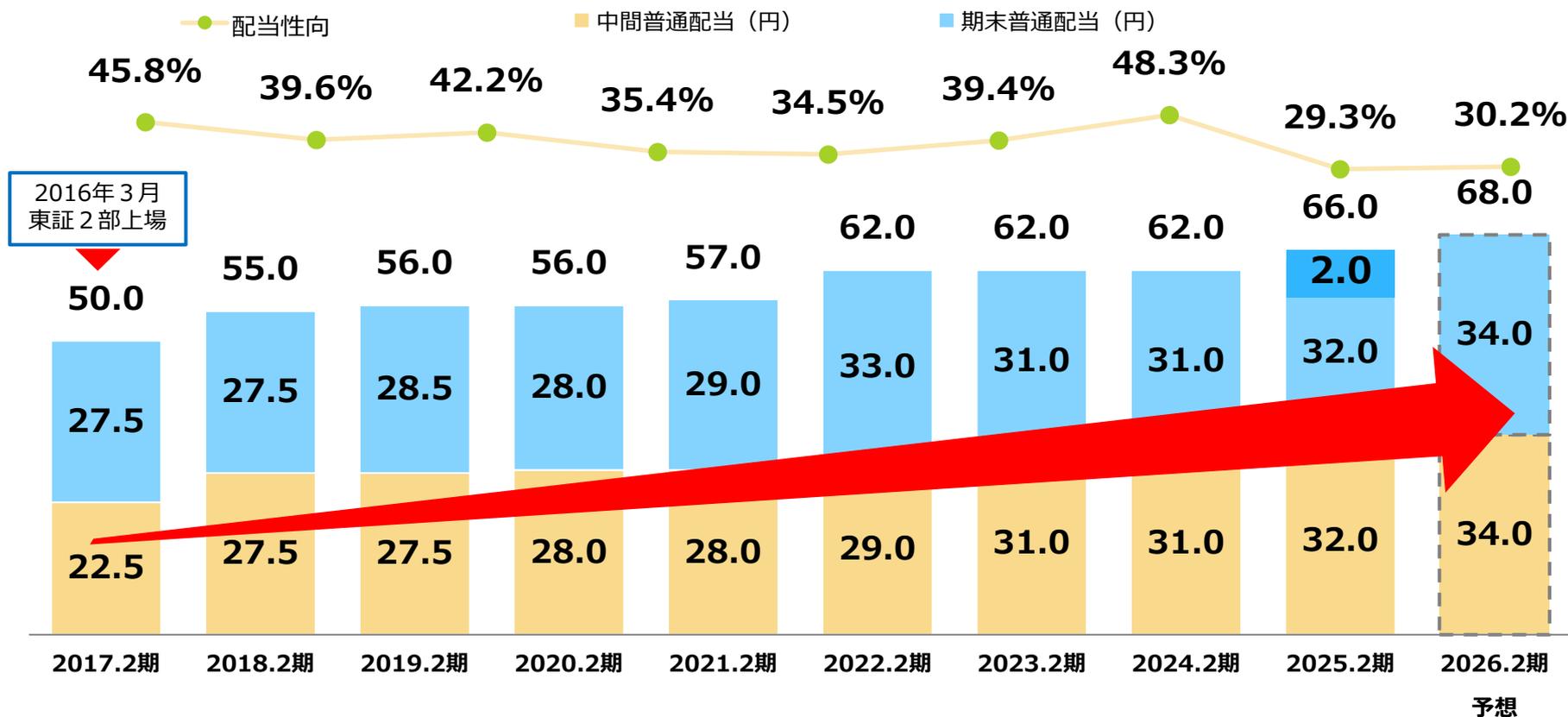


株主還元方針

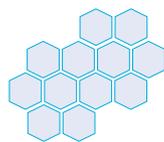
- 将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を行う方針です。

2026年2月期は2円増配の年間68円配当を予定

10年連続累進配当（予定）！

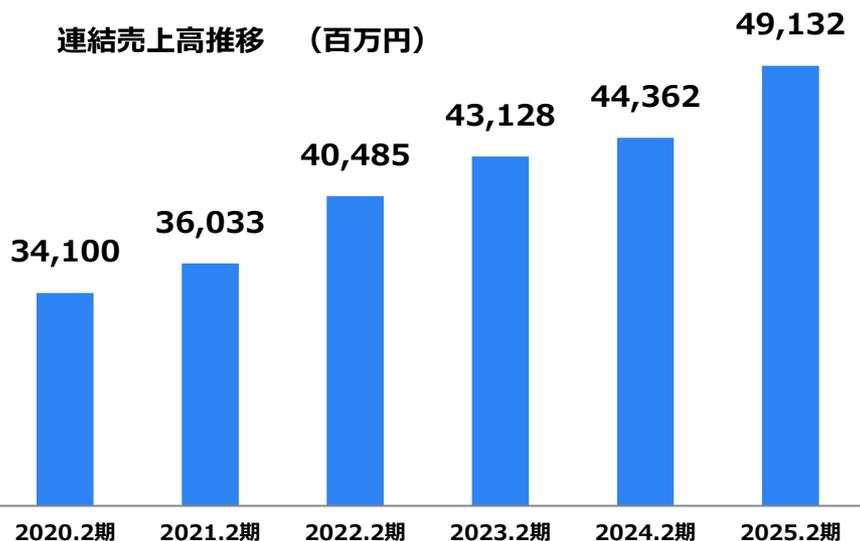


- 1 2025年2月期 決算概要
- 2 2026年2月期 業績見通し
- 3 2026年2月期 重点取り組み
- 4 参考資料**

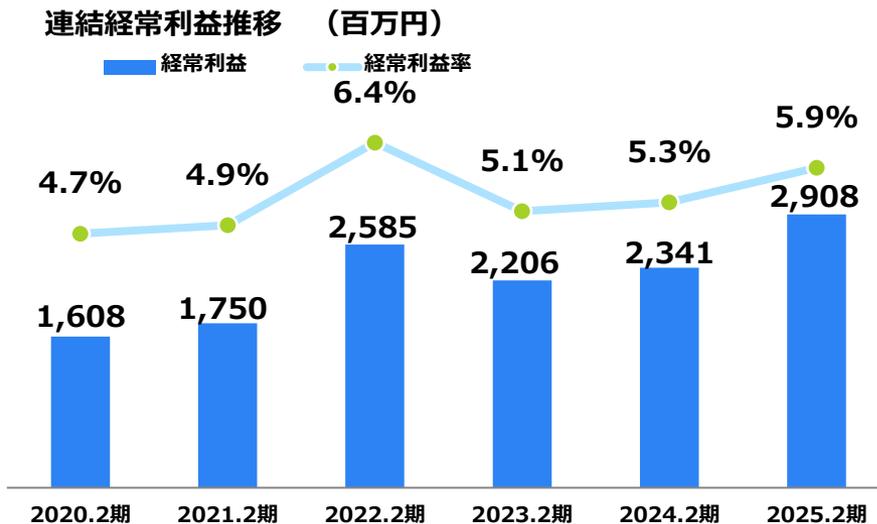


業績推移 1/2

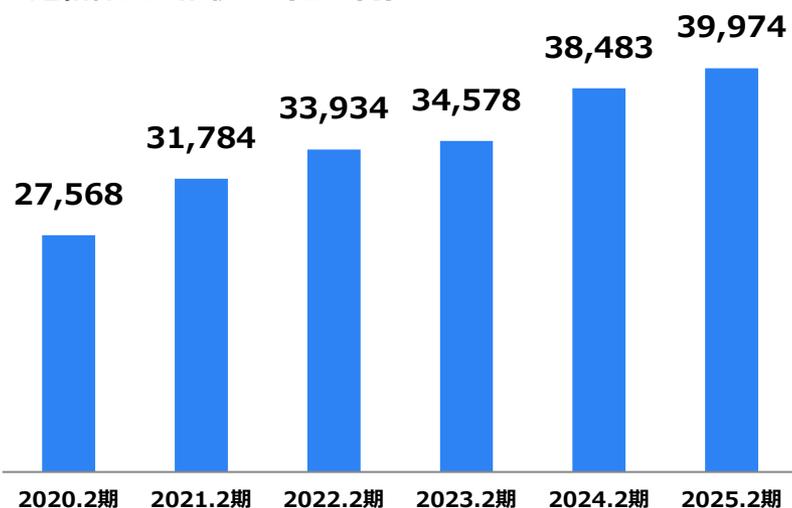
連結売上高推移 (百万円)



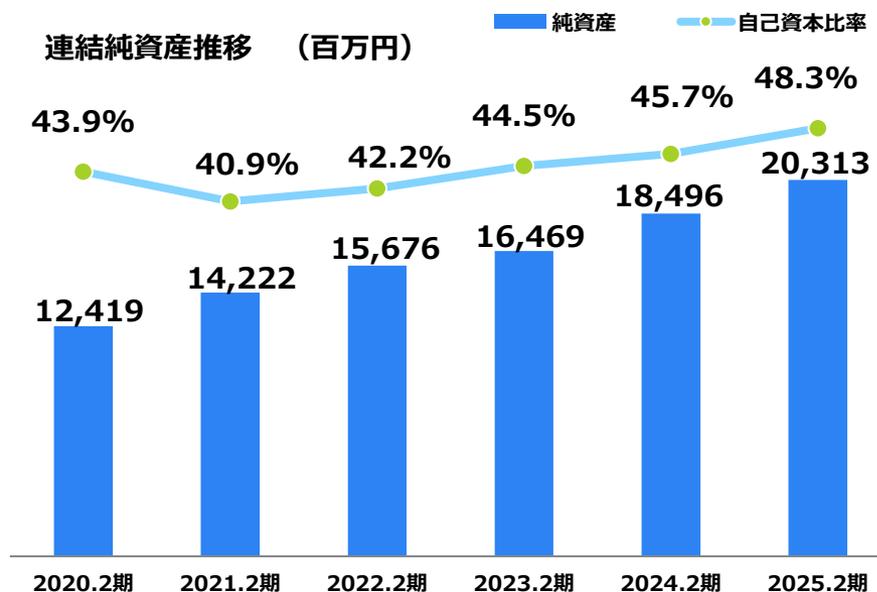
連結経常利益推移 (百万円)



連結総資産推移 (百万円)

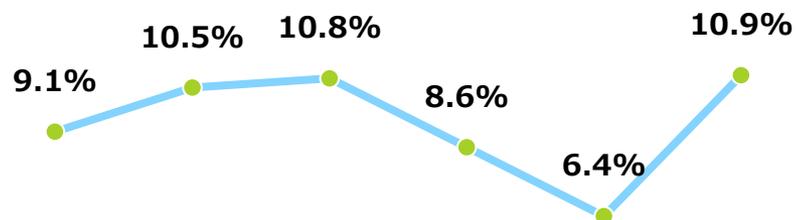


連結純資産推移 (百万円)



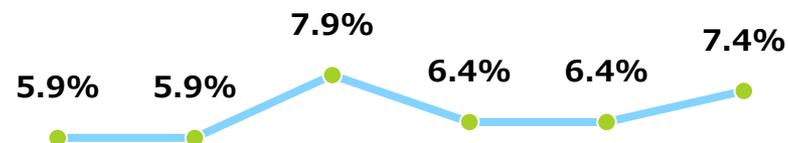
業績推移 2/2

連結ROE推移



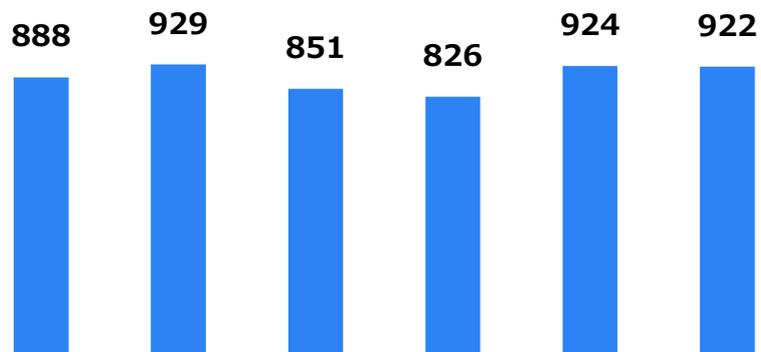
2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期

連結ROA推移



2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期

連結従業員数推移 (人)



2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期 2025.2期

【株主優待制度】

導入の目的

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆さまに中長期的に当社株式を保有していただくために導入（2021年2月末から導入）

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（100株）以上保有する株主様

株主優待内容

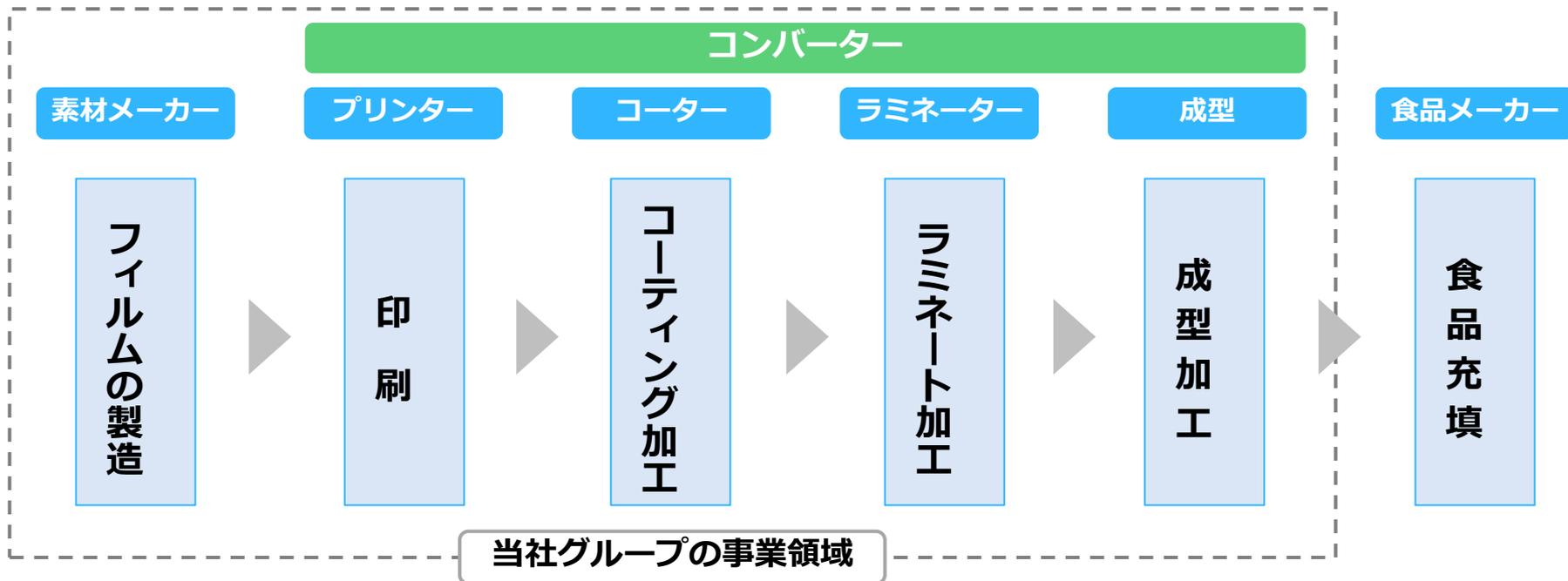
100株以上200株未満	QUOカード1,000円分
200株以上	QUOカード2,000円分

贈呈時期

毎年5月末頃を予定



包装材印刷加工のプロセス（例）



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 （ドライラミネート及びサーマルラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等） インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。